

道連ニュース

2010年11月号 No.53

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

『賀川豊彦 献身100年記念北海道集会』を開催しました ～伝えたい、100年前の「献身」～

11月12日（金）、北海道生協連など5団体の主催で『賀川豊彦 献身100年記念北海道集会～賀川豊彦に学び明日の北海道と協同組合を考える～』を開催し、主催・共催団体の役員や組合員など約200名が参加しました。

初めに、主催者代表挨拶を北海道生協連の麻田信二会長理事が行い、「先の見えない長期の経済不況に陥っているが、こうした時代だからこそ賀川豊彦の理論と実践に学ぶことに大きな意義があると考えて本集会を開催した」と開催の目的に触れると共に、酪農学園と賀川豊彦との関係を語られて北海道と賀川豊彦の強い結びつきを指摘されました。

講演は、『賀川豊彦の社会実践・・・その原点と時代』をテーマに、宗教学者で賀川豊彦の研究でも著名な北星学園大学の金井新二学長が熱のこもった講演をされ

ました。金井学長は「賀川は内向きの思想家ではなく、思想をどう外に生かすかに価値を置いた人で、社会へのチャレンジ、キリスト教へのチャレンジ、知的チャレンジといった3つの分野へのチャンレンジャーでこの精神こそがもっとも賀川らしい」と冒頭で述べられ、続いて、「世界の状況と賀川」「賀川の社会実践の原点」についてお話を展開され、賀川豊彦があれほどの強さで社会実践をするに至った原点について「自分の否定によって媒介された肯定」だったと語られ、参加者に感銘を与えました。

集会に併せて「賀川豊彦パネル展」（日本生協連提供）を開催し、賀川豊彦の著書などの書籍販売も行いました。なお、北海道生協連ではこの集会の報告集を1月末頃に発行する予定であります。ご希望の方はその頃お問い合わせください。



「賀川豊彦パネル展示」コーナー



記念講演をする北星学園大学の金井新二学長

パンフレット・子育て支援号
『CO・OPが応援する 子どものすこやかな成長』
を発行しました！

当連合会では、道内生協の多様な子育てを支援する取り組みやサービスを紹介するパンフレット『子育て支援号』を発行しました。CO・OP in Life「人生の節々に役立つ生協の役割」欄では、北海道医療生協・札幌医療生協・北海道住宅生協さんの事業活動をご案内しています。多くの消費者に情報を提供し、参加や加入を促進するための情報誌としてご活用下さい。当会のHPに掲載していますのでご覧下さい。



第3回2010ビジョン(会計基準) 検討会が開催されました ～北大経済学部の吉見教授がゲストに～



北大の吉見教授をゲストに開催された第3回検討会

第3回ビジョン検討会が10月28日にゲストとして北海道大学の吉見宏教授をお招きして開催されました。先生は北大生協及び大学生協事業連合の監事を勤められ、最後の日本生協連・生協会計基準委員会のメ

ンバーでした。

今回は①生協会計基準形成の経過、②証取法（金商法）と商法（会社法）の「コンバージェンス（基準を一つにまとめる）」、③IFRS（国際会計基準審議会）と中小企業について所見を伺いました。

先生からは、生協はIFRSをそのまま取り入れることはないとしても①生協法が会社法をフォローする形で取り入れざるを得ないケース、②組合員への情報公開という観点から取り入れるべきと判断されるケースが生じるのではないかとのことでした。又、検討会メンバーの山田建一税理士から①「非上場会社の会計基準に関する懇談会」の検討結果、②「中小企業の会計に関する研究会・中間報告書」の概要が紹介されました。

次回は11月19日に前日生協経理委員の田中氏（コープこうべ理事）、前日生協経営支援本部の三宅氏をゲストに開催が予定されています。

円高差益の価格反映が何故ないのか？

－ いよいよ灯油のシーズン到来 －

11月22日に第1回灯油問題連絡会が開催され、コープさっぽろ・生活クラブ・北大・北電の各生協が参加しました（道学校が都合で欠席）。

議題は①経産省・道主催の灯油懇談会、②日生協地連の灯油対策会議の各報告及び会員生協の事業取組み③今後の運動方向について意見交換がされました。今シーズンの特徴は高値での突入及び在庫調整による元売り圧力サイドでの進行です。中央での懇談会の中止もあり、生協などの消費者団体のアクションの弱さから元売りサイドの価格誘導がスムーズだとネット上では流れています。見通しとしては80円超は必至だが、85円はないだろう。在庫の逼迫は現場サイドでの発生が充分予想される。12月17日には元売りとの懇談を第2回連絡会として設定します。

又、第3回は年明け1月12日に予定されることにな



11月22日、4生協で開催された第1回灯油問題連絡会

りました。尚、景気回復が遅れ格差拡大が進行する中で、生活弱者への対策として①福祉灯油の周知・拡大、②備蓄法の修正、③「新」灯油難民の把握などが今後の運動課題となると思われます。更には灯油事業を展開する生協間の事業交流が、今シーズン終了時には元売りに対抗できる小売ロットとして、ホクレン側を含めて展望できる段階を期待したい。

第7回「コープさっぽろ農業賞」の授賞式が行われました

●●コープさっぽろ●●

11月12日（金）、札幌パークホテルにて第7回コープさっぽろ農業賞の授賞式が開催されました。今回は農業の部119件、漁業の部6件、交流の部17件と多くのご応募をいただきその中から、書類審査を行い農業の部11件、漁業の部3件、交流の部2件を選び、7月～9月にかけて延べ8日間、現地審査を実施しました。

受賞者のみなさんと関係者による記念撮影



コープさっぽろ農業の部で受賞を受ける「しみず農園」様

結果、大賞では北海道知事賞「興部町 ノースプレインファーム(株)」、コープさっぽろ賞農業の部「(株)しみず農園」、漁業の部「根室湾中部漁業協同組合女性部」、交流の部「砥山農業クラブ」が受賞しました。授賞式終了後、受賞生産者をはじめこれまでの受賞者、消費者、報道関係者約370名が交流を行いました。